



今村家は東安堵村北垣内一統の農家として続き、代々庄屋役などの村役を勤めた家です。村の氏神である、^{あぐなみ}飽波神社宮座の座員としても名を連ね、江戸初期の貞享年間（1684～1688）にはその存在を確認することが出来ます。第四世千助〔明和8年没（1771）〕の代から今村姓を称して、以後代々当主は「千助」や「専治（郎）」を名乗っています。

この今村邸は、幕末の^{てんちゆうぐみ}天誅組（天忠組）や伴林光平との親交で有名な今村^{ぶん}文吾（1808～1864）、また明治20年（1887）に大阪府から奈良県を独立・

再設置に導いた運動家、今村^{きんぞう}勤三（1852～1924）や、大阪帝国大学〔現大阪大学〕第5代総長・文化功労者でも知られる医学博士、今村^{あら}荒男らの生家でもあります。邸内は表門・同茶室〔弘化4年（1847）造〕、主屋〔明治30年代改装〕、米蔵〔江戸時代後期造〕、庭園からなっています。

平成3年（1991）、今村氏のご好意により土地・建物・資料をご寄贈いただき、これを安堵町が修復、改装の整備を行いました。平成5年（1993）10月、今村邸を安堵町の歴史や伝統、民俗関係資料を展示・伝承する場、安堵町歴史民俗資料館として一般公開し、現在に至っています。



おもな展示物

- 安堵町関係古文書資料
- 安堵町伝統産業 「灯芯」関係資料
- 江戸時代中期からの安堵町域の民俗資料

おもな催し

- 企画・特別展示の実施
- 灯芯ひき、民具、農具等実演・体験講座
- 初釜茶会（1月）
- 天理軽便鉄道模型運転会（2月）他

*多くの皆さんからの民俗資料、文書資料の寄贈・寄託によって資料館が運営されています。情報がございましたら、ぜひ共にご一報ください。

安堵町 歴史民俗資料館 館内ご案内



安堵町歴史民俗資料館

利 用 案 内

伝統産業 灯芯ひき

開館時間 午前9時～午後5時
* 但し最終入館は午後4時までです。

観 覧 料

観 覧 料 (1人1回につき)		
	個 人	団 体
大 人	200円	150円
大・高生	100円	80円
中・小生	50円	30円

貸室利用

* 団体扱いは30名以上からです。
主屋茶室（6畳）、表門西茶室「杏庵」（4畳半）をご利用いただけます。

利用料 1日1回 5,000円（別途 要観覧料）

* 詳細は当館にお問い合わせください。
その他団体観覧、昼食などの対応についてお気軽にお問い合わせください。

休 館 日 火曜日、年末年始（12月27日～1月5日まで）

* 但し、火曜日が祝祭日にあたる場合は開館。
それに最も近い翌平日が振替休館日となります。



交通案内 * 電車・バス利用

JR 大和路線 法隆寺駅下車
コミュニティバスまたは、奈良交通バス農協前停留所下車 徒歩
近鉄橿原線 平端駅下車
コミュニティバス農協前停留所下車 徒歩

* 乗用車利用

西名阪自動車道
法隆寺ICより約3km
大和まほろばスマートICより約1km（駐車場あり）

安堵町は大和川、富雄川、岡崎川を寄せて流れる地に位置しています。低湿地の泥田とよばれる排水の悪い土壌を利用して、江戸時代中期ごろから灯芯用の蔦草が栽培されていました。

蔦草は、米の裏作として秋11月～初夏6月の間に作られ、稲作地がうまく運用されていたのです。また、身近な現金作物として安堵町全域で生産されるようになり、灯芯の一大生産地となっていたのです。

梅雨の合い間に行われた蔦刈りや川の堤防沿いでの蔦干しの風景は、安堵町ならではの風物詩でした。しかし、灯芯の需要低下にたがって、生産量も次第に減少し、昭和43年（1968）を最後に蔦草の栽培はおこなわれなくなりました。

しかし現在では、他地域から取り寄せられた蔦草を使って灯芯ひきが行われ、町内の人びとによってわずかにその伝統が守られています。

灯芯は蔦草の皮を除いた“ずい”の部分で、油をしみ込ませて火をともすには最適な素材です。ひと昔前には生活になじみの深い日用品だったのです。

よく水に浸した蔦草を「ひき台」とよばれる道具の刃で外皮をひき裂き、“ずい”を切断することなくひき出します。ひき出された灯芯は1メートル内外の長さがありますが、これらを一束にまとめて結び、吊るして乾燥させて出来上がります。

現在では、寺院の灯明用、墨作りの採墨用灯芯、茶事の灯り用の長灯芯、和ろうそくの芯としての需要が主要なものとなっています。

平成27年6月1日、この灯芯ひき技術は、町指定文化財（無形民俗文化財／民俗技術）に指定されました。



灯芯ひき

〒639-1061 奈良県生駒郡安堵町東安堵1322番地

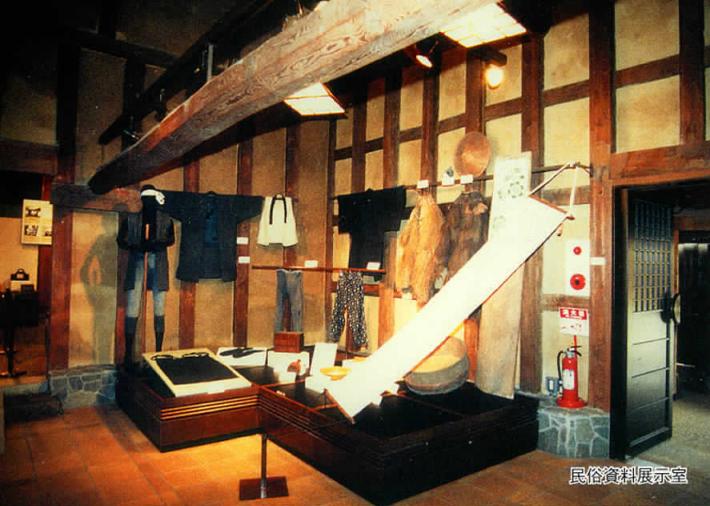
あん どころ わき し じん ぞく し りょう かん
安堵町歴史民俗資料館

TEL 0743-57-5090
FAX 0743-57-8895



歴史民俗資料館ウェブサイト

URL <http://mus.ando-rekimin.jp/>
URL <http://www.town.ando.nara.jp/> (安堵町HP)



民俗資料展示室



特別展示室



主屋土間・かまど



主屋・展示室2,3



表門西・茶室「容庵」



庭園(写真真彩館本 真之民)

安堵町歴史民俗資料館 館内案内図

施設

敷地面積 1,581.4m² (479坪)

延べ床面積 723.23m² (219坪)

主屋 木造2階建 1棟

1階 326.16m² (99坪)

2階 100.52m² (30坪)

倉庫 木造 1棟

1階 55.46m² (17坪)

2階 38.96m² (12坪)



庭園・しだれ桜「勤三桜」

